

高松校区は、渥美半島の南側中央に位置し、温室が建ち並ぶ施設園芸が盛んな農村地域です。

高松コミュニティ協議会では、将来像「人と人 人と自然 絆を育むまちづくり」を目指し、さまざまな活動を行っています。その中の防災に関する活動を紹介します。

◆校区大運動会「防災競技」

9月23日（土・祝）に開催された校区大運動会では、防災競技「負傷者を救出せよ作戦！」を行い



●防災競技での様子

ました。4人1組のリレー競技で、消火器を使って消火を行い、赤十字の方と負傷者役の児童を手当てし、担架に乗せ迅速に搬送しました。

◆避難所運営ゲーム「HUG」

「避難所運営のイメージが難しい」との意見から自主防災会約40名6チームにてHUGを実施しました。高松小学校の図面を使って避難所で

起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを模擬体験しました。

◆避難所開設・運営訓練

10月7日（土）に大規模な実践型避難所開設・運営訓練を実施しました。防災行政無線の合図で各組集会所に集まった参加者は、地震

災害避難場所の高松小学校に向かいました。約280名が集まり、各班に分かれ



●応急手当ての講習

避難者の受付・名簿作成、物資の受け入れ、炊き出し、配慮が必要な人への支援訓練、応急手当ての講習、簡易トイレの組み立てなどを実際に体験しました。解散後も多くの参加者が段ボール製簡易ベッドや屋外に設置された仮設トイレなどの展示物を熱心に見て回っていました。

これらの活動で得られた防災知識や地域住民みんなで協力して行った経験を安心・安全な地域づくりに生かしていきたいと思えます。

「平成29年度男女共同参画フェスティバル&しみのひろば」を開催しました！

「しみのひろば」は、市内の市民活動団体が日頃の活動を発表し、他団体や来場者と交流するイベントです。今年も、男女がお互いを尊重して「みんなが自分らしく輝けるまち、たはら」

を目指すイベント「男女共同参画フェスティバル」と合同で、8月27日（日）に田原文化会館で開催されました。

テーマは「市民がつくる男女共同参画のひろば」で、市民が主体のイベントにしたいという思いから、新たな交流を生み出す企画にも取り組みました。

その1つとして、市内在住の画家・小林憲明さんによる『ダキシメルオモイ』展&講演会が行われました。小林さんは、東日本大震災



●オープニングの団体紹介

をきっかけ

に、親子が抱

きしめ合う

姿に家族の

「オモイ」を

込めて描き

伝える「ダキ

シメルオモ

イプロジェクト」を始めました。この

絵からは「震災を風化させてはいけない」という小林さんの強い思いが

表れ、多くの人が共感し心を打たれて

いました。

また、子育てに関する悩みを共有

し、解消する事を目的とした「たはら

の子育て井戸端会議」では、「家事の

男女共同参画」がテーマに取り上げ

られました。夫婦で参加する方も見

られ、和やかな雰囲気の中で活発な

意見交換が行われ、充実したワーク

ショップとなりました。



●「ダキシメルオモイ」展&講演会

田原市民活動支援センター

ID 10001061

shiminkatsudo@city.tahara.
aichi.jp